

誰もが活躍できる 生涯現役社会づくり! を考える



連合愛知タウンミーティング vol.5を開催

連合愛知は、8月27日(土)名古屋産業振興公社デザインホール(ナディアパーク3F)にて、『連合愛知タウンミーティング vol.5 「働くことを軸とする安心社会」を築こう!』を開催した。

5回目の開催となる今回は、『誰もが活躍できる生涯現役社会づくり』をテーマに、一般参加をはじめ、構成組織、地域協議会、政策推進議員、後援団体から約370名の参加があった。

主催者を代表し、連合愛知 土肥会長のあいさつの後、第1部講演会ではゲストとしてフリーアナウンサー／シニア産業カウンセラー 梶原しげる氏を招き、「楽しい人生を過ごす



50歳から楽しく生きるために!」をテーマに、「リタイアしてから、元の職場環境にこだわって生きていくことはできず、見方・受け止め方を変えることで、人生は楽しくなる。」とメッセージを受けた。

第2部の討論会では、第1部ゲストの梶原し

タウンミーティングを盛り上げる



げる氏をコーディネーターに、ライフサポート輝 浅井順二氏、亀若倶楽部 事務局長 原園義秀氏、中部大学アクティブアゲインカレッジ對馬(つしま)明 氏、NPO法人キャリアデザインフォーラム代表理事 犬塚尚美氏をパネリストに、コメントーターとして連合愛知 土肥会長を迎え、「起業」「地域貢献」「学び直し」「パラレルキャリア」の4つの異なる立場のパネリストから、それぞれの活動や経験談が紹介され、生涯現役を実現するための社会参加のあり方について来場者との意見交換も取り入れ、様々な目線からのディスカッションを行った。

第1部 基調講演「楽しく人生を過ごす 50歳から楽しく生きるために!」(梶原しげる氏)

次代を担うリーダーの育成に向けて

ユニオントレーニング アドバンスコース 修了式

4月に開講し5ヶ月にわたって開催してきた連合愛知ユニオントレーニングアドバンスコースは、8月20日に受講生20名の修了式を行った。

本アドバンスコースは、連合愛知の人材育成の取り組みとして、中小企業労働組合役員を対象とし、「労働組合の現状と課題」「コミュニケーション」「財務諸表の知識・決算書の見方」「企業視察」「ライフプラン」「ユニオンファシリテーション」などの実務教育を行うことを目的として開講している。

最終日となるこの日は、志ネットワーク代表 上甲 晃氏から「志を教える 松下幸之助の人づくり」、法政大学法学部教授／ジャーナリスト／TVコメンテーター 萩谷 順氏から「どうなる日本!?今後の経済・政局の動きを読む」の2つのオープン講座を開講した。

その後、受講生一人ひとりから、①本コースを通じて学び得たこと、②今後の活動にどう活かしていくか、とした「私の



ユニオントレーニング アドバンスコース 修了式

アドバンス宣言」が発表された。

修了式では、土肥会長より受講者一人ひとりに修了証が手渡され、受講者へのねぎらいと、今後の組合活動へ期待の言葉がかけられ、それぞれがリーダーとして頑張っていく意識付けとなった。

愛知県の最低賃金が845円に変わります

最低賃金の改正にともない街頭宣伝行動を実施

連合愛知は8月24日、名古屋駅前において街頭宣伝行動を行い、10月1日より愛知県最低賃金時間額が820円から845円に改定されることを受け、最低賃金改定の金額(845円)を記載したチラシ入りグッズを配付しながら、連合愛知土肥会長、



最低賃金の改定を訴える最低賃金部会 木戸 部会長

三島事務局長、木戸副会長(最低賃金部会長)より最低賃金の取り組みや重要性について訴え、大塚参議院議員、近藤衆議院議員をはじめ、多くの議員からも最低賃金のセーフティネットとしての役割や自分の給与を確認してほしいと訴えた。あわせて、愛知県内の全地域協議会(11地協)においても、主要の駅前などで街頭宣伝行動を行い、愛知県全域で最低賃金改定を訴えた。

最低賃金は、すべての労働者の最低額を保障するセーフティネットであり、常用・臨時・パート・アルバイト・嘱託など、雇用形態や呼称にかかわらず、原則すべての労働者とその使用者に適用されている。

連合愛知は今後も、未組織労働者や非正規労働者の労働条件向上のため、賃金のセーフティネットを強化し「すべての労働者の労働条件の改善」に取り組んでいく。

あなたの職場で働くすべての人と家族の
こころの相談室

心の相談室

電話相談

専用電話

052(618)7831

月/15:00~19:00 水/12:00~19:00 金/16:00~20:00
※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。

面接相談

場所/ (社)日本産業カウンセラー協会中部支部
※事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

恒久平和の実現に向けて核兵器廃絶への新たな一歩を

「2016 連合平和行動 in 広島」に参加

8月5日から6日、「恒久平和の実現に向けて核兵器廃絶への新たな一歩を」をテーマに掲げて平和行動in広島が開催された。

連合愛知からは、豊嶋副会長を団長とする18名で参加した。

1日目は、連合広島をはじめとするピースガイドの方々の協力を得て、広島平和記念公園内にてピースウォークを行い、被爆地の歴史と平和に対する被爆者の思いについて見識を深めた。

その後、「連合2016平和ヒロシマ集会」に参加し、集会では、5月に被爆地を訪問したオバマ大統領と面会した坪井氏によ



広島での平和行動に参加したみなさん



連合2016平和ヒロシマ集会

る被爆体験証言や高校生平和大使からのメッセージなどにより、戦争の悲惨さや平和の尊さについての訴えがされた。

2日目は、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参加し、核兵器廃絶、恒久平和の実現のための取り組みを広げていくことを参加者全員で確認した。

「2016 連合平和行動 in 長崎」に参加

8月8日から9日、「恒久平和の実現に向けて核兵器廃絶への新たな一歩を」をテーマに平和行動in長崎が開催された。

連合愛知からは、木戸副会長を団長とする16名が参加した。1日目は連合2016平和ナガサキ集会が開催され、次世代への継承として被爆者からの訴えと、高校生平和大使からは「ビリョクだけどもリョクじゃない!」をキ



連合2016平和ナガサキ集会



長崎での平和行動に参加したみなさん

ーメッセージに、今日までしっかりと継承されてきた若者たちの平和の願いや、国連へ訴える熱き思いが披瀝された。2日目の平和祈念式典では、長崎市長が長崎平和宣言を読み上げ、核兵器のない世界と平和の実現に向けた取り組みが必要であることを参加者全員で確認した。

平和祈念式典終了後、連合長崎青年・女性委員会のピースガイドによる連合2016 PEACE WALKIに参加した。

第11回(拡大)執行委員会 2016年8月29日

確認事項

- 1.当面の日程について
- 2.連合愛知各種委員会の委員交代について
構成組織の事情により、下記のとおり委員を交代する。

委員会名	構成組織名	新	旧
政策委員会	全国ガス	渡辺純一	内藤貴祥
組織拡大委員会	ゴム連合	佐藤宜弘	早瀬康弘
青年委員会	全国ガス	佐竹諒一	渡辺純一
- 3.退任役員への功労記念品の贈呈について
- 4.2017年度連合愛知年間大日程(案)について
- 5.2017年度地協交付金(案)について
- 6.構成組織の組織拡大について
- 7.労働相談センター業務委託の継続について
- 8.連合愛知政策推進議員懇談会2016年度活動実績報告について
- 9.街頭宣伝行動の取り組みについて
日 時:2016年9月30日(金) 17:30~18:30
場 所:栄メルサ前
- 10.連合愛知公式ホームページのスマートフォン対応等の改良について
- 11.連合愛知2017労働審判員制度への対応について
- 12.2016年度「個別労働紛争解決研修(基礎研修)」受講者の選出について
- 13.2016年度「個別労働紛争解決研修(応用研修)」受講者の選出について
- 14.愛知労働局との政策要望懇談会の開催について
- 15.連合愛知「労働審判員(情報交換会)」の開催について

- 16.愛知労働局「働き方改革」及び「夏の生活スタイル変革(ゆう活)」の周知について
- 17.2016春季生活闘争回答情報
- 18.2016連合愛知助け合い運動について
- 19.「北方領土返還要求運動の標語・キャッチコピー募集」について
- 20.「北方領土の日」ポスターコンテスト作品募集の協力について
- 21.核兵器廃絶に向けた「核兵器保有国の駐在外国公館」への要請行動について
- 22.あいちシェイクアウト訓練の実施について
- 23.核兵器廃絶に向けた「原爆パネル展」の開催について

議 事

- 1.連合愛知職員の採用について
氏 名:三石 朋子
採用日:2016年9月1日
- 2.非専従役員の交代について

構成組織名	新	旧
全国ガス	佐藤宜弘	早瀬康久

- 3.2017年度活動方針(案)
- 4.連合愛知第28回定期大会の開催について(公示)
- 5.連合愛知第28回定期大会の代議員選出について
- 6.2017年度暫定予算について
- 7.登録人員の変更について

そ の 他

- 1.女性管理職養成セミナー
- 2.男性管理職向けワークショップ



全労済の
住まいる共済
火災共済・自然災害共済

**火災はもちろん、台風・地震など
自然災害にも備えられる
「住まいと家財の保障」。**

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全労済生活共済生活共済連合会



連合愛知Facebook

あなたの「いいね」が社会に向けた世論喚起につながり、あなたの「シェア」が大きな力となります。



連合愛知ホームページ

<http://www.rengo-aichi.or.jp/>